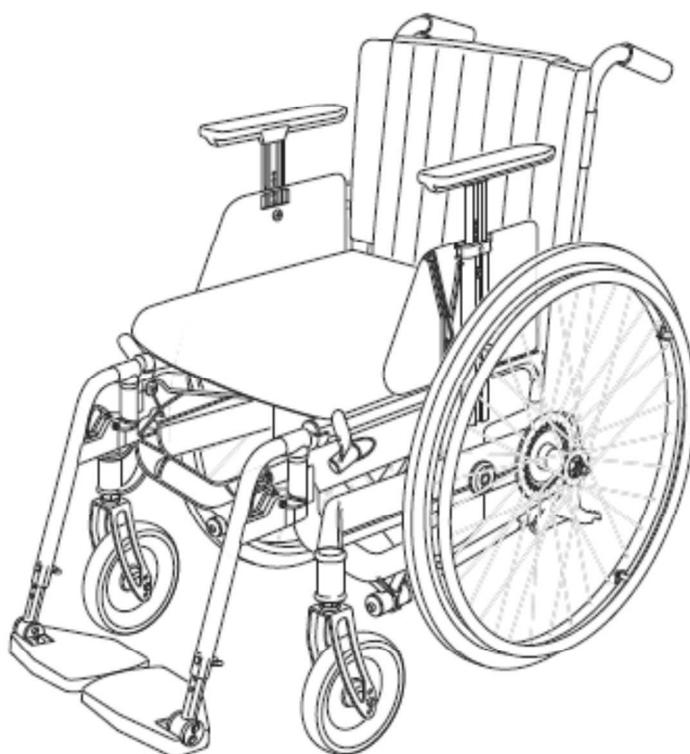


モジュラ車いす (CCTAコード 122133)

レボネクスト取扱説明書



目次

【タイトル】	ページ
1. 概要	2
2. 輸送方法	3
3. レボネクスト パーツ名称	5
4. レボネクスト 標準仕様	6
5. クイックガイド	7
6. シートのセッティング	10
7. レッグサポートの調節	12
8. バックサポートの調節	14
9. ブレーキとバランスの調節	16
10. フロントキャスト・ハンドリムの調節	18
11. メンテナンス方法	19
12. トラブルシューティング	20
13. 試験・保証	21
14. シート高・角度	22
15. 重量・サイズ	23

1. 概要

この度は車いすレボネクストをお買い求め頂き、誠にありがとうございました。
本製品のご使用前には必ず『取扱説明書』をよくお読み頂き、正しく安全に使用してください。
車いすの調節は、販売店もしくは弊社までお問合せください。

レボネクストは屋内・外両方のご使用を目的として作られた内外対応型の車いすです。
ISO7176とスウェーデン・ハンディキャップ・インスティテュートにおいてテストされており、その品質を保証されています。

耐久テスト

エタック社の車いすはスウェーデン試験調査機関における耐久テストとISO7176～19と10542に基づく試験・認証を受けています。

これらのISO基準は、車いすの使用上の安全性、乗用車内での使用中の安全性に関して品質を保証するものです。

製造元：ETAC（スウェーデン）



警告

この表示項目を守らずに誤った取扱をすると重大な事故につながり、使用者が重傷を負う恐れがあります。



注意

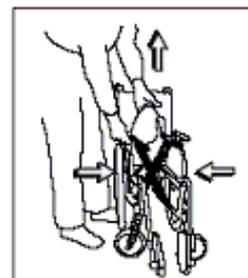
この表示項目を守らずに誤った取扱をすると使用者が傷害を負ったり、物的損害をこうむる恐れがあります。

警告	フットサポートの上に立たないでください。 前方へ転倒し、ケガをする恐れがあります。
	車いすを持ち上げる際は、アームサポート、フットレッグサポートを持たないでください。
	取扱説明書に無い調節、メーカーが許可しないパーツの取付けや改造は行なわないでください。
注意	車いすを操作、調節する際は注意してください。
	車いすの折り畳みをする際は、アームサポート、フットレッグサポートを持たないでください。
	車いすが後方へ転倒する恐れがありますので、転倒防止バーを使用してください。
	すべてのネジがしっかりと固定された状態で使用してください。

2. 輸送方法

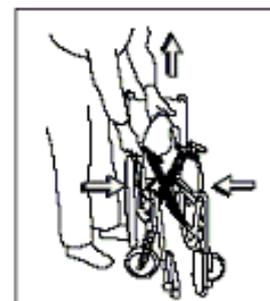
1 折り畳み方

右図のようにフットプレートを跳ね上げ、座面シートを持ち上げてください。



2 広げ方

右図のように片側のフレームを手のひらで下向きに押ししてください。



注意

シートを広げる際に手を挟まないようご注意ください。
シートを握ったまま行なうと手を挟み、けがをする恐れがあります。

3 持ち上げ方

1の方法で折りたたんだ後、プッシュハンドルとレッグサポートを持ち上げてください。



注意

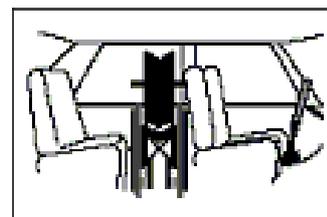
車いすを持ち上げる前に、プッシュハンドルとレッグサポートがしっかりと固定されているか確認してください。

4 車での輸送方法

乗用車/タクシー：車いすを折りたたみ、トランクに収納してください。

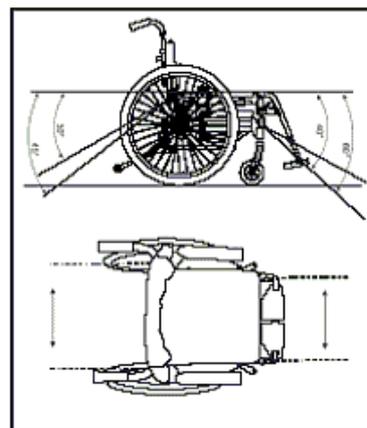
後部座席に収納する場合は、動いたり倒れたりしないように固定してください。

可能であればシートベルトで車いすを固定してください。



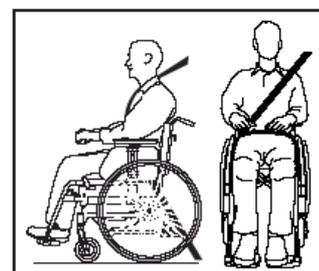
5 車内での固定方法

固定ストラップは右図に示されている角度にて固定してください。
固定ストラップは本体フレームに使用してください。
決してスポークの間を通したり、バックパイプにかけて留めない
てください



6 シートベルトの使用法

車いすに乗ったまま車で移動する場合、
車内のシートベルトを利用することをお薦めします。
その際は必ず右図のようにベルトを装着してください。



7 車での移動方法

車で移動する際、次のことをお薦めします。

- *車の座席に移乗し、車内のシートベルトを使用してください。
- *車いすに乗ったまま車で移動する場合、ベルト類メーカー推奨の使用法に従い、進行方向に座って車いすとユーザーの体をベルトでしっかりと締めてください。
- *車いすのバックサポートの高さはユーザーの肩か肩より高くしてください。
- *ブレーキをかけてください。
- *転倒防止バーを下げてください。

8 車での移動・・・注意事項

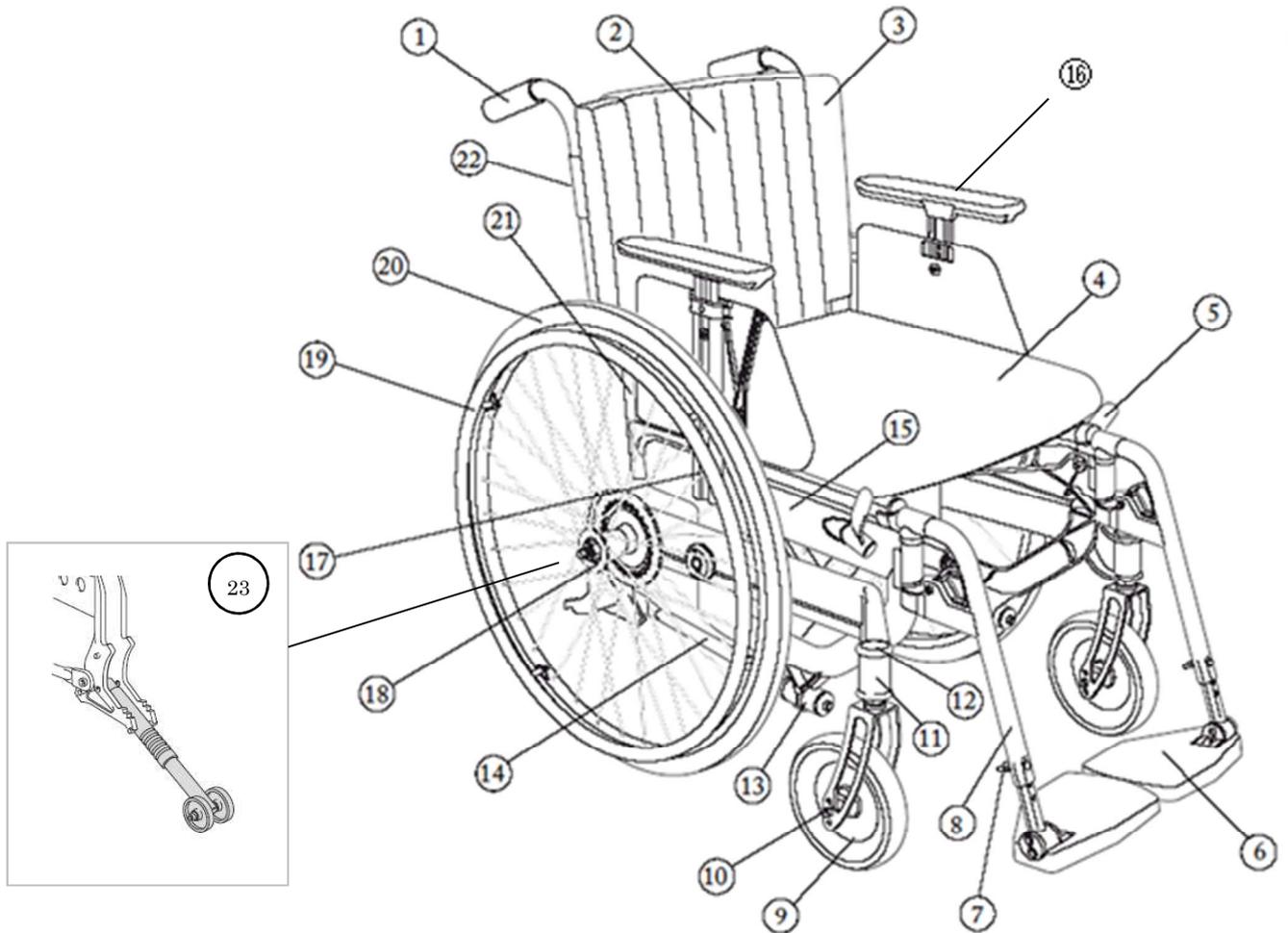


注意

車で移動する際は、以下の点に注意してください。
不明な場合は、販売店もしくは弊社までお問合せください。

- *自動車の急ブレーキ作動時に危険ですので、車いすのポジショニングベルトは使用せず必ずシートベルトを使用してください。
- *固定ストラップは本体フレーム部に使用してください。
- *容易に取り外しのできるテーブルなどのオプションパーツは、走行中に外れる可能性がありますので安全のため、取り外してください。
- *車いすのブレーキは必ずかけてください。
- *転倒防止バーを下げてください。

3. レボネクスト パーツ名称



- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 プッシュハンドル | 13 ショックアブソーバー |
| 2 バックサポートカバー | 14 ロッド |
| 3 バックサポート | 15 フレーム |
| 4 シート | 16 アームサポート |
| 5 ブレーキ | 17 アームサポートアタッチメント |
| 6 フットサポート | 18 車軸 (クイックリリース) |
| 7 レッグサポート高さ調節ネジ | 19 ハンドリム |
| 8 レッグサポート | 20 駆動輪 |
| 9 フロントキャスト | 21 バックサポートフレーム |
| 10 キャスタフォーク | 22 プッシュハンドル用高さ調節ネジ |
| 11 キャスタフォークアタッチメント | 23 転倒防止バー |
| 12 アタッチメントカバー | |

4. レボネクスト 標準仕様

標準モデル

* シート

座幅：40cm

座面高：40～50cm（座面角度0°の場合）

座面高さ、座面角度調節可能

シート高：駆動輪・キャストフォーク；フロントキャストを変更せずに10cm調節可能

シート奥行：5cm調節可能

フロントキャスト：5インチのソリッドタイヤ

* 駆動輪

22インチ ソリッドタイヤ

クイックリリース式車軸

アルミハンドリム

* バックサポート

高さ、角度、背張調節可能

プッシュハンドル：高さ調節、取り外し可能

* レッグサポート

ロック可能、着脱可能

* フットサポート

跳ね上げ可能

高さ調節可能

前後位置・角度調節可能

5. クイックガイド

車いすの調節経験がある方を対象としたクイックガイドです。
詳細は6～10章をご参照ください。

* 車いすの調節は販売店もしくは弊社までお問合せください。

1 座面高

座面シートの高さは駆動輪・キャストフォーク・フロントキャストを変更せずに10cmの調節が可能です。

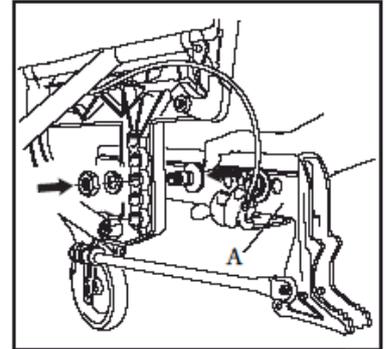
フレーム両側ブロック(A)のナットを緩めてください。

(A)の中央部を握り、取り外してください。

高さ位置を選び、(A)をしっかりと取り付けてください。

工具：24mmスパナ

高さ調節の詳細は7章3をご参照ください。



2 シート角度

シート角度はセットポジションを利用することで調節できます。

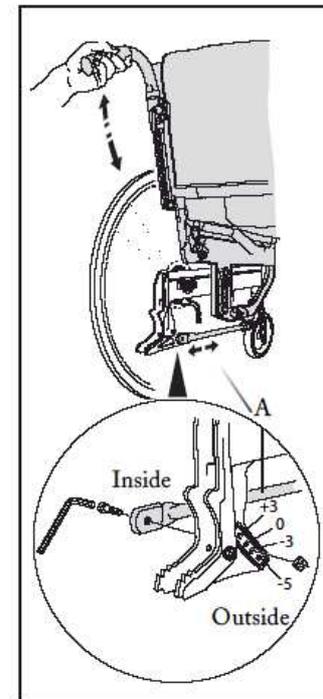
+5°、+3°、0°、-3°

両サイドのロッド(A)を固定しているネジを緩めてください。

片方のプッシュハンドルを握り、シートユニットを上方または下方に動かしてください。

必要なシート角を選び、ロッドを固定してください。

工具：5mm六角レンチ



前座面高はシート角度調節によって変わります。

シートが水平(0°)の状態から始め；

-3° (シート角前傾)：前座面高は15mm下がります。

+3° (シート角後傾)：前座面高は15mm上がります。

+5° (シート角後傾)：前座面高は30mm上がります。



注意

緩み止めの効果がなくなったネジ及びナットは新しいパーツに交換してください。

3 バックサポート高

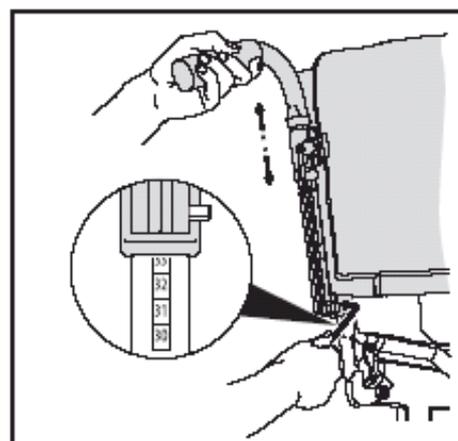
30～45cmまで無段階調節可能です。

バックサポートチューブ内側のネジを

2, 3回転緩めてください。

バックサポートを上方に引き上げるか、
下方に押し下げて高さ調節してください。

工具：5mm六角レンチ



4 バックサポート角度

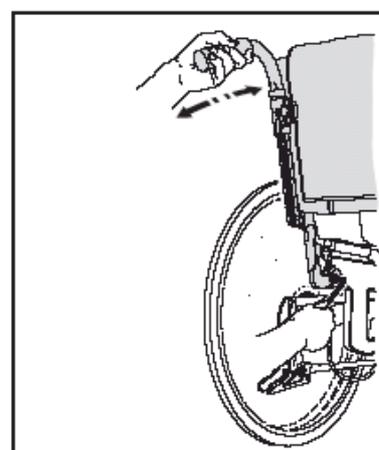
-5° から 15° まで無段階調節可能です。

バックパイプを片側ずつ調節してください。

バックパイプ固定ネジをフレーム内側から緩めてください。

必要な角度にあわせ、ネジを締めてください。

工具：5mm六角レンチ



5 駆動輪位置調節

駆動輪位置は3箇所調節可能です。

ブロック内側のナットを緩めてください。

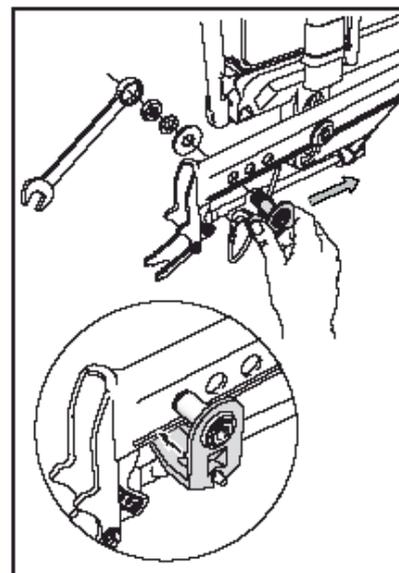
駆動輪の位置を変えてもブレーキの効きが変わらないよう、
ブレーキワイヤーは取り付け位置から角度が柔軟に変わる構造です。

ブロックからアタッチメントを外し、

取り付けたい位置に付け替えてください。

右図の通り、アタッチメントをしっかりと取り付けてください。

工具：24mmスパナ



〈注意〉 ブロックの溝にアタッチメント下部の凸部を
ひっかけてください。



注意

調節によっては車いすが後方へ転倒する恐れがあります。
必ず転倒防止バーを使用してください

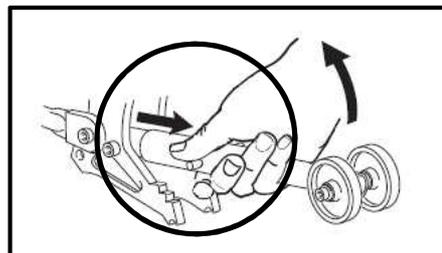


6 転倒防止バー

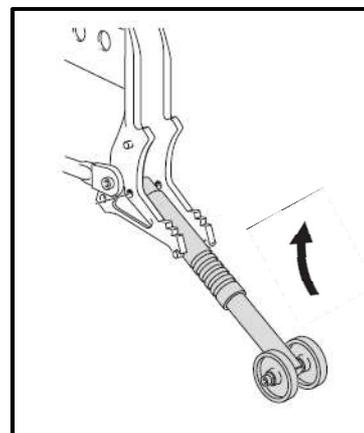
後方への転倒を防止するため、必ず転倒防止バーが機能することを確認し使用してください。

段差の乗り越えなど転倒防止バーが床面と干渉する時は、一時的に転倒防止バーを解除することができます。

転倒防止バーを跳ね上げる場合は、○で囲んだ部分を手で持ち、後方へ引きロックを解除して上方へ跳ね上げてください。



転倒防止バーを使用する場合は、転倒防止バーが固定する位置まで押し下げてください。



注意

車いすが後方へ転倒する恐れがありますので、必ず転倒防止バーを使用してください



注意

転倒防止バーを解除する際には、後方への転倒に注意してください。



注意

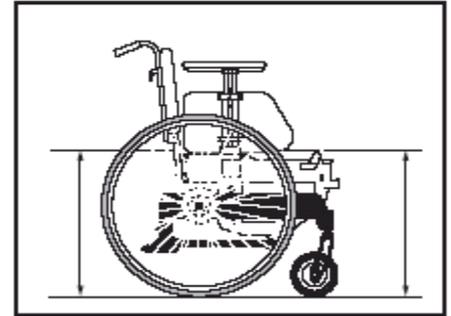
車いすを使用する際は、転倒防止バーが機能することを必ず確認してください。

6. シートのセッティング

1 座面高

座面高は駆動輪、キャストフォーク、フロントキャストの調節をせずに 10cm 調節できます。

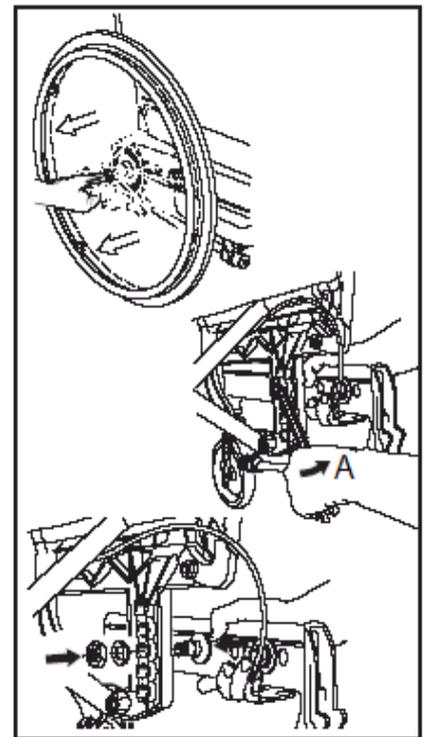
フロントキャストのサイズはユーザーの駆動方法によって選定してください。シート高の調節の為に変更する必要はありません。



2 シート高調節

駆動輪の車軸中央ボタンを押しながら引き抜いてください。
ブロック内側のナットを外してください。
ブロック中心部を握り、引っ張って外してください。
高さ位置を選び、取り付けてナットを締めてください。

工具：24mmスパナ



3 シート角度

シート角調節は前座高に影響します。(13章参照)
キャストフォークアタッチメントは固定されているので、
調節不可能です。

フロントキャストの位置は指定の場所に
設定してください。(10章7参照)



注意

フロントキャストの位置は指定の場所に設定してください。
(10章7参照)

4 シート角度調節

シート角は $+5^\circ$ 、 $+3^\circ$ 、 0° 、 -3° の調節が可能です。

図 A のネジを緩めてください。

プッシュハンドルを握り、シートユニットの角度を調節してください。

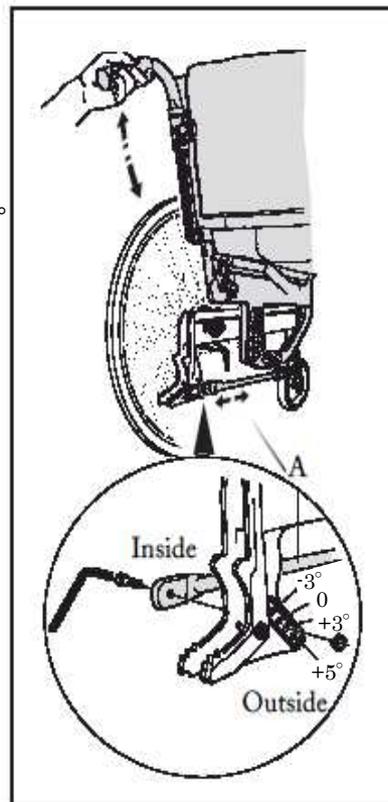
調節したいシート角度にあわせてロッドを固定してください。

右図の通り、四角型ナットは外側に固定してください。

工具：5mm 六角レンチ



ゆるみ止めの効果がなくなったネジ及びナットは、新しいパーツに交換してください。



注意

緩み止めの効果が無くなったネジ及びナットは、新しいパーツに交換してください。

前座面高はシート角度によって調節できます。

シート角度 0° を基準とし、

-3° (座角 前傾) …シート前方から 15mm 低くなります。

$+3^\circ$ (座角 後傾) …シート前方から 15mm 高くなります。

$+5^\circ$ (座角 後傾) …シート前方から 30mm 高くなります。

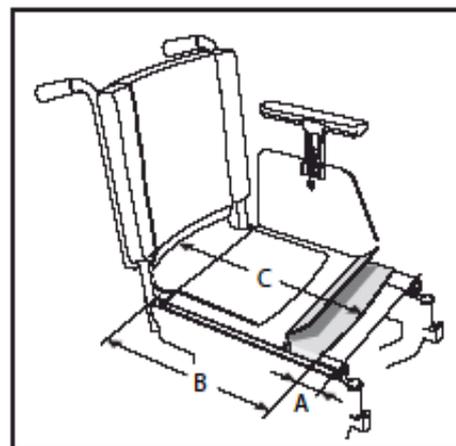


5 シート奥行調節

シートの奥行は図中 A のようにシート前部分を前方

または後方に動かして調節できます。

37~42 cm (図中 B: バックサポートチューブ~シート端)



7. レッグサポートの調節

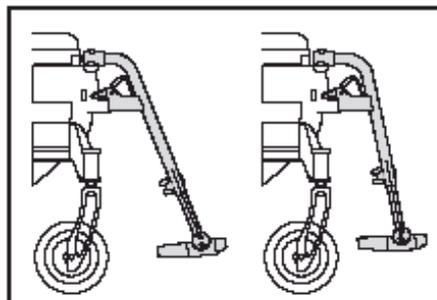
シーティング機能上の奥行（図中C）は
バックサポート張調節の状態によって変わります。

1. レッグサポート

レッグサポートはロック・脱着・スイングアウト/イン可能です。

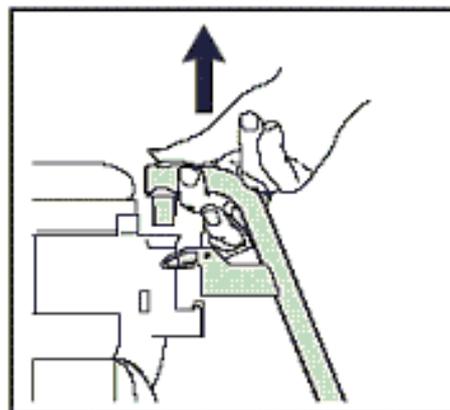
2. レッグサポート

5インチと6インチ（オプション）のフロントキャストが
使用可能です。



3. レッグサポート ロック機能

レッグサポートを取り外す際は
右図のようにレバーを引きながら外してください。
取り付け時はロックがされたことを確認の上、
使用してください。



4. レッグサポート

レボネクストの標準フットサポートは跳ね上げ式で、高さ・角度・奥行調節が可能です。
フットサポートを長くしたい場合は、オプションパーツとして標準タイプより長い
フットサポートチューブをご利用頂けます。

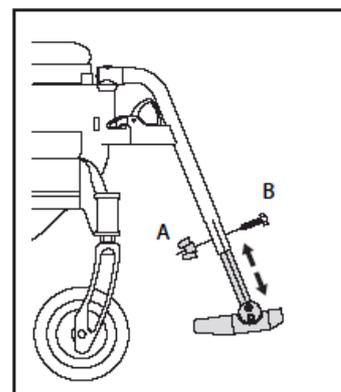
警告 転倒の恐れがありますので、フットサポートの上に立たないでください。

注意 屋外で使用する場合には、フットサポートと地面の間を最低4～5 cm
空けてください。

5. フットサポート 高さ調節

フットサポートは2 cm間隔で高さ調節が可能です。

右図中Aのウィングナットを緩めてください。Bのネジを抜いてくださ
高さを調節した後、ナットとネジを取り付け、しっかりと締めてくださ



6 フットサポート ー角度・奥行調節

フットサポートは角度調節と2種類の奥行調節が可能です。

角度：ネジCを半回転から3/4回転緩めてください。

フットプレート角度調節後、ネジを締めてください。

工具：5mm六角レンチ

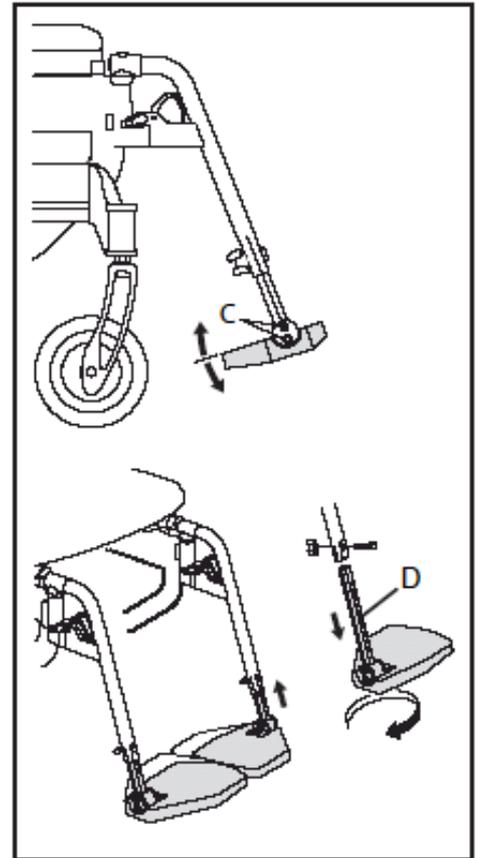
奥行：フットサポートチューブ(D)はフットサポートの1/3前方側に付いていますので、左右を付け替えることでフットサポートを前方に出すことになります。

フットサポートチューブを取り外し、

左右に付け替えてください。

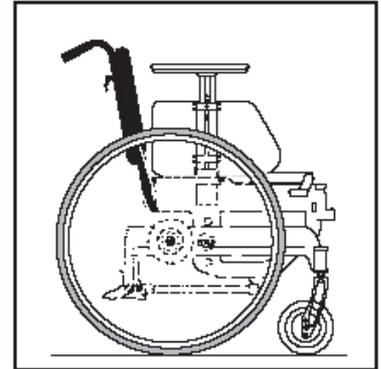
フットサポート角度を調節してください。

工具：5mm六角レンチ（フットサポート角度調節時）



8. バックサポートの調節

バックサポートは高さ・角度・張調節が可能です。
プッシュハンドルは高さ調節が可能です。



注意

後方へ転倒する恐れがありますので、バックサポートの調節を行なう際は、必ず転倒防止バーを下に下げてください。

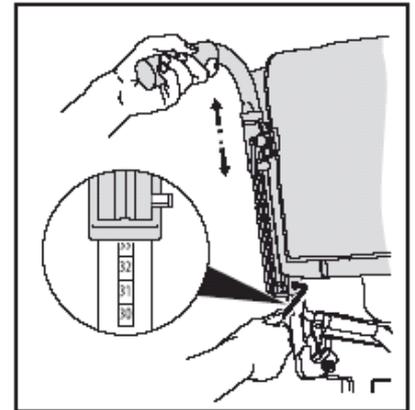
2 バックサポート高

バックサポート高は無段階で30～45 cmの調節が可能です。

バックサポートチューブ内側のナットを2、3回転緩めてください。
バックサポートを上方/下方に高さ調節してください。

バックサポートチューブの目盛りを参考に、
左右の高さが同じになるよう確認してください。
ネジを締めてください。

工具：5mm六角レンチ



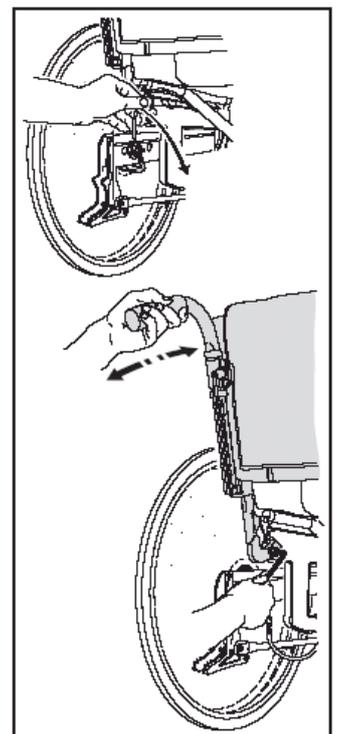
3 バックサポート角度

バックサポート角度は無段階で -5° から 15° まで
調節が可能です。

バックサポートは1本ずつ調節してください。
バックサポート・ジョイント部内側のネジを緩めてください。
角度を決めた後、ネジを締めてください。
もう1本のバックサポートも同様に調節してください。

工具：5mm六角レンチ

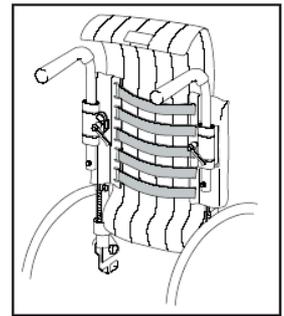
。



4 バックサポート カバー

バックサポートカバーの形状は、5本のベルクロストラップとカバーを利用して変えることができます。

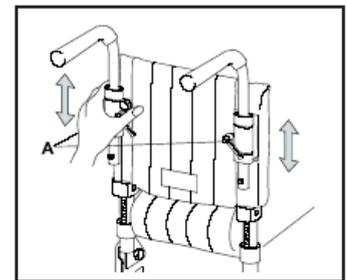
- バックサポートカバーを外してください。
- 全ストラップを緩めて、ユーザーにできるだけ奥深く座って頂きます。
- ユーザーの背中形状に沿わせてストラップを締め、背中のカーブにあわせてサポートしてください。
- 背張り調節の形状を損なわないようにバックサポートカバーを取付けてください。
- ご利用者様の身体状況により背張り調節が異なりますので、専門家にご相談頂くことをお勧めいたします。



5 プッシュハンドルの高さ調節

プッシュハンドルは2 cm毎の高さ調節が可能です。

Aのレバーを緩め、赤いプラスチックワッシャーを内側に押し、適切な高さに調節し、レバーを締めてください。



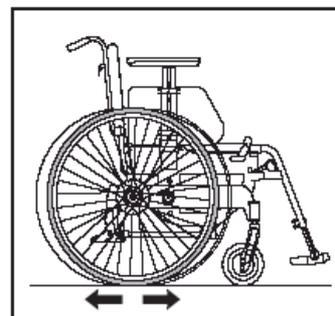
注意

調整後は必ず高さ調節のレバーを締めてください。レバーを締めずに車いすを動かすと、車いすの破損や事故につながる恐れがあります。

9. ブレーキとバランスの調節

1 バランスセッティング

バランスは駆動輪、シート角、バックサポート角、ユーザーの使用状況（体重の分散状況）によって変わります。バランスセッティングは車いすの機能に大きく影響します。重心が駆動輪に近づくほど駆動しやすく、キャストに近づくほど駆動しにくくなります。



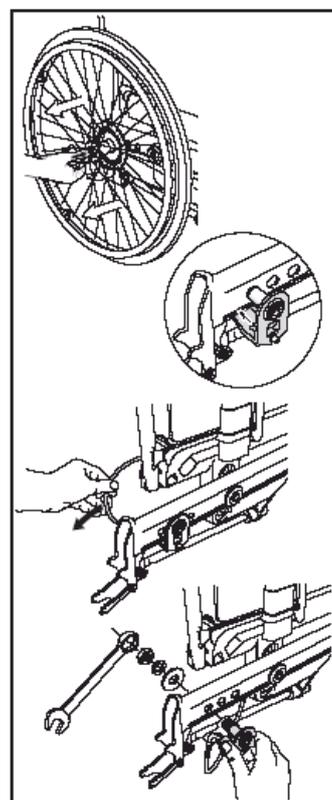
2 駆動輪—バランス調節

駆動輪は前後3箇所調節可能です。

車軸中心ボタンを押しながら駆動輪を外してください。
ブロック内側のナットを緩めてください。
ブレーキワイヤーは取り付け位置から角度が柔軟に変わる構造です。
アタッチメントを外し、取り付け位置を変えてください。
ワッシャー、ナットをアタッチメントに図のように取り付けてください。

〈注意〉ブロックの溝にアタッチメント下部の凸部をひっかけてください。
ブレーキ調節は必要ありません。

工具：24mmスパナ



注意

駆動輪のバランス調節を行った際は、必ず転倒防止バーが正しく作動するか確認してください。

3 ブレーキ : ブレーキワイヤーの調節

ブレーキは駆動輪のサイズや位置を変更しても調節する必要はありません。ブレーキ調節が必要な場合は、ブレーキワイヤーの長さを変えることで調節可能です。

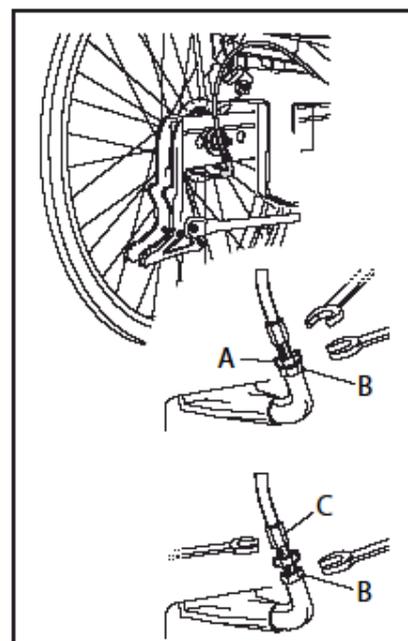
ナット A を緩めると、ナット B が調節できます。

ナット B を緩めるかもしくは締めることで、ブレーキピンが駆動輪に接触しなくなります。その時にハウジングエンド C を固定してください。調整後は、ブレーキの効きを確認してください。

時計方向にナットを回す：ピンは内側に入ります。

時計と反対方向にナットを回す：ピンは外側に出ます。

工具：8mmスパナ、10mmスパナ

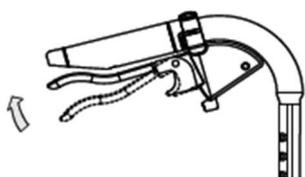


注意

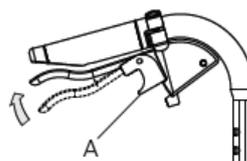
ブレーキの調整後に駆動輪を回転させ、ブレーキピンと駆動輪が干渉していないことを確認してください。

ブレーキピンと駆動輪が干渉している場合、金属音がしますので再度調節を行なってください。

4. 介助ブレーキの操作方法 (オプション)



ブレーキレバーを矢印の方向に引いている間ブレーキがかかります。



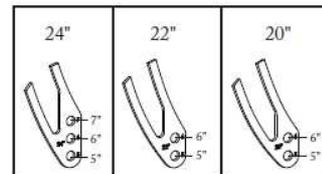
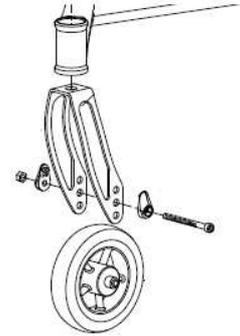
ブレーキレバーを矢印の方向に引いてボタン A を押しブレーキレバーをロックするとパーキングブレーキがかかります。

10. フロントキャスト・ハンドリムの調節

1. キャスタの取り替え

レボネクストの標準のフロントキャストは5インチです。
キャストのサイズを交換する場合は、現在取り付けしている
フロントキャストのネジとナットを緩めて外してください。
キャストサイズによって、フロントフォークの決められた
位置に取り付けてください。

工具：5mm六角レンチ



2. ハンドリム

レボネクスト標準仕様のハンドリムはアルミニウム製です。
材質と駆動輪・ハンドリム間の距離はユーザーの使用状況に影響します。



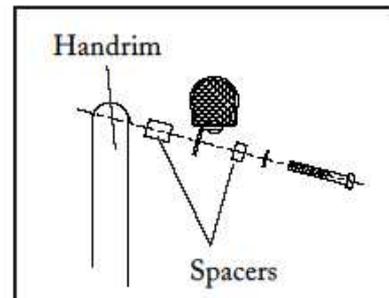
注意

幅が狭い場所は、指のけがやスポークへ指を挟み込む恐れがあります。
スポークへ指を挟み込む恐れがある場合は、スポークガードの使用をお勧めします。

3. ハンドリムの距離調節

スペーサーを追加または取り外すことにより、
駆動輪とハンドリム間の距離を調節できます。

工具：4mm六角レンチ



11. メンテナンス方法

〈カバー〉

カバーは2種類の素材でできています。

座面シートはシートチューブに差し込まれています。

チューブキャップのネジを緩めて、シートを取り外すことが可能です。

バックサポートを取り外す際は、まず手押しハンドルアタッチメントのネジを緩め、バックサポートを引き上げてください。

座面シートとバックサポートは洗濯機で40℃までの温水洗浄が可能です。

〈駆動輪・フロントキャスト〉

タイヤ：タイヤ溝は少なくとも一ヶ月に一度は確認してください。

スポーク：スポークの緩みは駆動輪のがたつきにつながります。

スポークの調節ができる代理店にメンテナンスを依頼してください。

車軸：毛髪やホコリを取り除いてください。

ボールベアリング：メンテナンス不要です。注油はしないでください。

ハンドリム：ハンドリムの傷でユーザーがけがをする危険性があります。

傷があれば交換してください。

〈ブレーキ〉

汚れがひどい場合はブレーキの効きが悪くなる可能性があります。

使用前には必ず正常に作動するか確認してください。

ブレーキ調節が必要な場合は9章3をご覧ください。

駆動輪を回転させた際に金属音がする場合は、駆動輪とブレーキが干渉している可能性がありますので、ブレーキの再調節をしてください。

〈フレーム洗浄〉

快適に使用していただく為、フレーム洗浄は行ってください。

車用洗剤、中性洗剤がご使用頂けます。

残水を防ぐ為、排水穴が開けられています。



警告

駆動輪及びフロントキャストのベアリングに潤滑油等は決して使用しないでください。ベアリングに潤滑油を使用すると、ベアリング内部のグリースが溶けて、動きが悪くなるなど車いすが破損する恐れがあります。

12. トラブルシューティング

車いすがまっすぐに進まない	<ul style="list-style-type: none"> — 駆動輪が正しく取り付けられているか確認してください。 — ユーザーの体重が不均等にかかっていないか確認してください。
車いすが操作しづらい	<ul style="list-style-type: none"> — 駆動輪が正しく取り付けられているか確認してください。 — キャスタに毛髪や埃等、付着していないか確認してください。 — キャスタに体重がかかりすぎていないか確認し、ユーザーの重心バランスをとってください。
車いすの回転動作が重く、しづらい	<ul style="list-style-type: none"> — キャスタに毛髪や埃等、付着していないか確認してください。 — キャスタに体重がかかりすぎていないか確認し、ユーザーの重心バランスをとってください。
ブレーキが効かない	<ul style="list-style-type: none"> — ブレーキワイヤーの長さ調節をしてください。 (10章3参照)
駆動輪から金属音がる	<ul style="list-style-type: none"> — ブレーキワイヤーの長さ調節をしてください。 (10章3参照)
駆動輪の脱着がしづらい	<ul style="list-style-type: none"> — 駆動輪の車軸に潤滑油を塗ってください。
キャスタががたつく	<ul style="list-style-type: none"> — キャスタフォークのネジが十分に締められているか確認してください。 — キャスタに体重がかかりすぎていないか確認し、ユーザーの重心バランスをとってください。
折り畳みにくい 広げにくい	<ul style="list-style-type: none"> — バックサポートカバーをきつく締めすぎていないか確認してください。 — クロスフレームの連結部の汚れをとり、潤滑油を塗ってください。
車いすが不安定に感じる	<ul style="list-style-type: none"> — 全てのネジ・ナット・ボルトが締まっているか確認してください。

車いすが正しく調節されていない場合、または正しい駆動方法でない場合に上記の問題が起る可能性があります。

12. 試験・保証

レボネクストは屋内外両用として認証され、CE マークを取得しております。
使用者体重制限は約135kgです。

機能・品質性は国際品質規格であるISO7176に沿って試験され、スウェーデン・ハンディ
キャップ・インスティテュートにおいて保証されています。

CE マークについて

商品はヨーロッパ品質基準に沿って総合的に試験評価されています。
商品はスウェーデン国内と国際MDD（公的医療用品）の基準を満たすものとして
保証されています。

保証

フレーム本体について1年
保証は日本国内にのみ適用されます

保証外

記載する取り扱い方法や調節方法に過誤があった場合。
車いすに改造を加えた上でのご使用。
当社の保証期間外。
タイヤ、キャスト等の消耗部品。

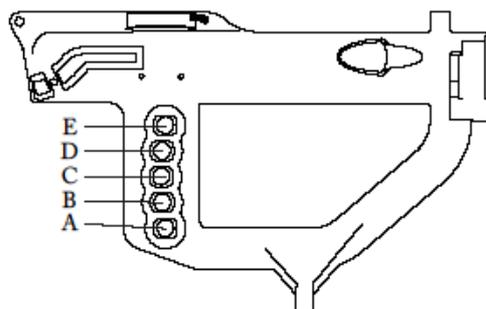
13. シート高・角度

シート高、シート角度の調節については6章2～5をご覧ください。

【座面高】

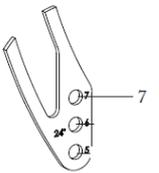
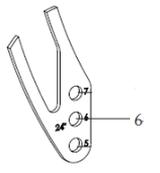
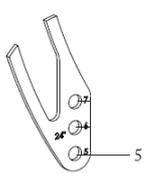
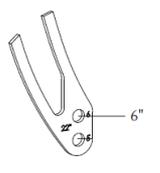
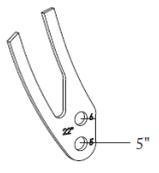
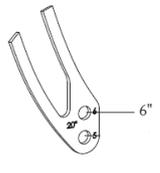
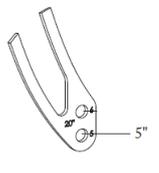
シート角度0° 調節時のシート高

	24 インチ	22 インチ	20 インチ
E	42,0 cm	40,0 cm	38,0cm
D	44,5 cm	42,5 cm	40,5cm
C	47,0 cm	45,0 cm	42,5 cm
B	49,5 cm	47,5 cm	45,0 cm
A	52,0 cm	50,0 cm	47,5 cm



サイズは計測具合によって±1 cm 程の差が出る場合があります。

【フロントキャストの取り付け位置】

駆動輪サイズ	フロントキャストの取り付け位置		
	7インチ	6インチ	5インチ
24 インチ			
22 インチ	使用不可		
20 インチ	使用不可		

フロントキャストのサイズによって、フロントフォークへ取り付ける位置が異なります。



注意

フロントキャストは必ず決められた位置に取り付けてください。取り付けに誤りがあると駆動に影響を及ぼし、車いすの破損につながる恐れがあります。

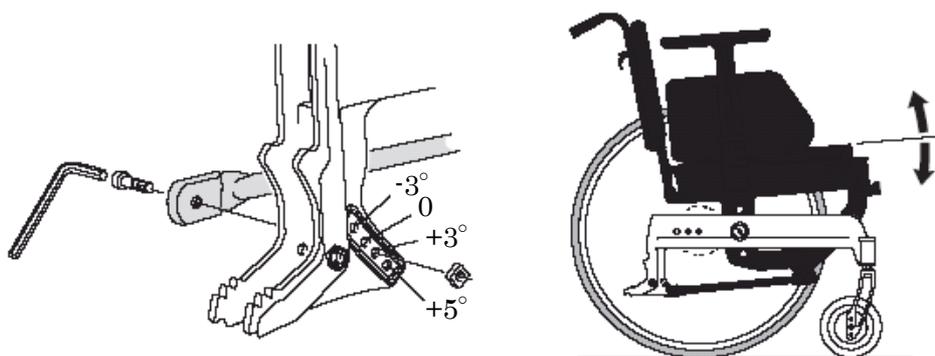
シート角調節方法

前座面高はシート角によって調節できます。

シート角 0° を基準とし、 -3° （座角 前傾）…シート前方から15mm低くなります。

$+3^{\circ}$ （座角 後傾）…シート前方から15mm高くなります。

$+5^{\circ}$ （座角 後傾）…シート前方から30mm高くなります。



14. 重量・サイズ

座幅	シート奥行	シート高	バックサポート高	全幅	折り畳み幅	総重量
40 cm	37-42 cm	40-50cm	30-45 cm	60 cm	30 cm	約 20kg

*シート奥行：バックサポートチューブ～シート前端

*総重量：駆動輪、レッグサポート、アームサポート、転倒防止バー、プッシュハンドル含む

*計測時仕様：22インチ駆動輪、アルミニウム製ハンドリム、バックサポート 0°

アームサポート、レッグサポート、転倒防止装置、高さ調節付プッシュハンドル

*重量及びサイズは仕様によって異なります

LAC

ラックヘルスケア株式会社

大阪 〒542-0081

大阪府中央区南船場 2-10-2

TEL : 06-6244-0636 FAX : 06-6244-0836

東京 〒105-0014

東京都港区芝 3-43-16 KDX 三田ビル 11F

TEL : 03-5419-8050 FAX : 03-5419-8051

九州 〒862-0924

熊本市中央区帯山 2-1-23 パークヒル帯山

TEL : 096-340-8101 FAX : 096-340-8102